

検査の種類	検査名	検査の目的	染色体異常の可能性評価	染色体診断	分娩リスクの評価	検査可能な妊娠時期	結果が出るまでに必要な時間	検査の痛みやリスク	当院で受けることができる検査	料金
非確定的検査	初期精密超音波検査	○ 大きい形態異常があるかないかを評価します	○ 3つの染色体異常の確率(%)が得られます	×	△	妊娠12週～13週	その場で、結果用紙のお渡しと説明を行います	なし	○	¥30,000
	中期精密超音波検査(20週)	○ 中小の形態異常があるかないかを評価します	△ 疑わしいかどうかの印象を評価します	×	○	妊娠19週～20週	その場で、評価についての説明を行います	なし	○ (同検査を受けた場合、24週の中期精密超音波検査は不要となります)	¥20,000
	中期精密超音波検査(24週)	○ 中小の形態異常があるかないかを評価します	△ 疑わしいかどうかの印象を評価します	×	○	妊娠23週～27週	その場で、評価についての説明を行います	なし	○ (当院で必須の検査です)	¥10,000
	コンバインド検査(FirstScreen)	△ 赤ちゃんの成長と首の裏の厚さしか分かりません	○ 2つの染色体異常の確率(%)が得られます	×	×	妊娠12週～13週	およそ1週間後に、結果用紙のお渡しと説明を行います	採血による痛みのみ	×	病院によります (参考：¥40,000程度)
	母体血清マーカー検査(クアトロテスト)	×	○ 3つの染色体異常及び開放性神経管奇形の確率(%)が得られます	×	×	妊娠15週～18週	およそ10日後に、結果用紙のお渡しと説明を行います	採血による痛みのみ	○	¥30,000
	母体血胎児染色体検査(NIPT)	×	○ 3つの染色体異常が陽性・陰性・判定保留という結果でわかります	×	×	妊娠9週以降	およそ2週間後に、結果用紙のお渡しと説明を行います	採血による痛みのみ	△ (連携病院に紹介が可能です)	連携先病院によります (参考：¥180,000程度)
確定的検査	絨毛染色体分析検査	×	—	○ あらゆる染色体の数的異常、構造的異常、モザイク等が診断できます。	×	妊娠12週～14週	およそ2-3週間後に、結果用紙のお渡しと説明を行います	お腹や膣から針を刺します。一般的に、流産リスクが1%程度と言われています。	×	病院によります (参考：¥150,000程度)
	羊水染色体分析検査(G-band)	×	—	○ あらゆる染色体の数的異常、構造的異常、モザイク等が診断できます。	×	妊娠16週以降	およそ2-3週間後に、結果用紙のお渡しと説明を行います	お腹から針を刺します。一般的に、流産リスクが0.2%程度と言われています。	○	¥150,000
	迅速羊水染色体分析検査(Rapid FISH+G-Band)	×	—	○ G-Bnadに加え、1週間で3つの染色体と性染色体異常の数的異常に関する診断ができます。	×	妊娠16週以降	およそ1週間後に、Rapid FISH およそ2週間後に、G-Bandの結果用紙のお渡しと説明を行います	お腹から針を刺します。一般的に、流産リスクが0.2%程度と言われています。	○	¥200,000